

# TADのベスト版 コレクション+ あなたならどう見る？

## TAD Best Selection: Museum Collection+ How Would You View It?

当館では2017年の移転新築以来、収蔵作品をコレクション展の中で紹介してきましたが、限られた展示室でご覧いただけただけのごく一部でした。移転から3年目を迎えた本展では、ピカソやミロなど当館を代表する作品を、これまで展示する機会の少なかった作品を含めて、過去最大の規模でご紹介します。

また本展では、収蔵作品の展示に<sup>プラス</sup>して、異なる分野で活躍する4名(開発好明氏、とに〜氏、林道郎氏、山内マリコ氏)にご協力をお願いした展示コーナーを設置します。美術と様々な関わり方をされる4名の視点を通して、作品の新たな見方・魅力をお楽しみください。



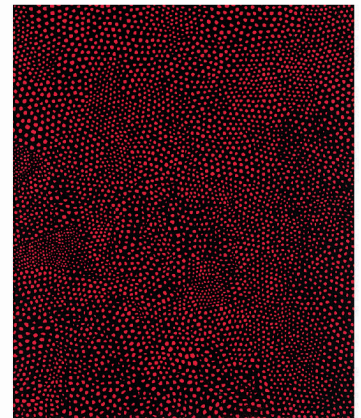
パブロ・ピカソ《肘かけ椅子の女》1923年  
© 2020 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)



藤島武二《山上の日乃出》1934年



ジェニファー・バートレット《炎・テーブル・円錐G》1988-89年  
© Jennifer Bartlett. Courtesy Marianne Boesky Gallery, New York and Aspen, Paula Cooper Gallery, New York, and The Jennifer Bartlett 2013 Trust.



草間彌生《無限の網》1960年  
© YAYOI KUSAMA

掲載作品は全て当館蔵

## 本展の見どころ

### TADのベスト版

当館収蔵品の中から選りすぐりの作品を展示室1~4で紹介します。(過去最大規模)

### TAD 収蔵ピカソ全作展示

当館収蔵のパブロ・ピカソ作品を全点展示します。(絵画4点、版画3点、書籍4冊)

### 多彩なゲストとのコラボレーション

開発好明氏(アーティスト)、とに〜氏(アートテラー)、林道郎氏(美術批評家)、山内マリコ氏(小説家)とコラボレーションした展示コーナーを設けます。

会期 2020年9月19日(土)~11月3日(火・祝)  
開館時間 9:30-18:00 (入館は17:30まで)  
休館日 毎週水曜日(9/23、9/30、10/7、10/14、10/21、10/28)  
会場 富山県美術館 展示室1、2、3、4 (展示室1はコレクション展と共通)

観覧料 Fee for special exhibition	一般 Adults	¥ 900 (700)
	大学生 College students	¥ 450 (350)
高校生以下 High school students or younger	無料 Free	
一般前売り Advance tickets	¥ 700	

( )=20名以上の団体料金 Fee for group tickets

- ※ 企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。
- ※ 各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料です。
- ※ 学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料です。
- ※ 「リピーター割」や「くま割」を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。

### 「前売券販売所」富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

#### 御来館される皆様へ

- ご来館の皆様には、マスクの着用/適切な距離の確保/咳エチケット/風邪症状がある場合のご来館自粛など、新型コロナウイルス感染症防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。
- 記載内容は都合により変更する場合があります。当館ホームページ、SNS等をご確認の上ご来館されることをお勧めいたします。
- 会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等に掲載しますので、ご確認ください。

## ゲスト紹介

### 開発好明 [アーティスト]

多摩美術大学非常勤講師。2006年に「ベルリン-東京、東京-ベルリン」(ニューナショナルギャラリー、ベルリン)、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、2019年に「あそびのじかん」(東京都現代美術館)に出品。2016年に個展「開発好明:中二病」(市原湖畔美術館)開催。観客参加型の作品を多く制作している。

### とに〜 [アートテラー]

美術の魅力をわかりやすく、かつ面白く伝える日本でただ一人の「アートテラー」。芸人時代に培った話芸と突いのセンスで独自のトークガイドを各地、各美術館で実施している。雑誌、ラジオ、テレビなどメディア出演多数。

### 林道郎 [美術批評家]

上智大学国際教養学部教授。主な著書に、『絵画は二度死ぬ、あるいは死なない』(Art Trace 2003-09年)、『死者とともに生きる-ボードリヤール「象徴交換と死」を読み直す』(現代書館 2015年)、『静かに狂う眼差し-現代美術覚書』(水声社 2017年)。

### 山内マリコ [作家]

『ここは退屈迎へて来て』(幻冬舎 2012年)で作家デビュー。主な著書に、『アズミ・ハルコは行方不明』(幻冬舎 2013年)、『あのこは貴族』(集英社 2016年)。近著に『山内マリコの美術館は一人で行く派展 ART COLUMN EXHIBITION 2013-2019』(講談社 2020年)。FMとやま「山内マリコのオケイトーク」ではパーソナリティを務める。

本展覧会はbeyond2020プログラムの認証を受けています。

## Access アクセス

富山駅南北自由通路の開通により、美術館がより近くに!

- 富山駅南口から(JR富山駅新幹線側)…  
徒歩 約17分/タクシー 約10分/バス 7番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山駅北口から(あいの風とやま鉄道側)…  
徒歩 約15分/タクシー 約3分/バス 1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から…タクシー・車 約20分(渋滞なし) 約9km
- 北陸自動車道から…富山I.C.から国道41号経由 約15分(渋滞なし)

美術館の駐車場数(8:00-20:00)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用いただくか、満車の際は恐れ入りますが周辺駐車場をご利用ください。

**富山県美術館**  
Toyama Prefectural Museum of Art and Design

〒930-0806 富山市木場町 3-20  
3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan  
Tel.076-431-2711 Fax.076-431-2712 https://tad-toyama.jp

